

景観を決定している評価要素に関する研究

(株)ジオスケープ	正 員	須田清隆 (Kiyotaka Suda)
(株)ジオスケープ	正 員	宮崎栄一郎 (Eiichiro Miyazaki)
(株)ジオスケープ	正 員	佐藤文彦 (Fumihiko Sato)
北海道開発局	正 員	井出康郎 (Yasuro Ide)

1. 研究の目的

景観計画では、視点場から眺めることのできる視覚情報についての分析・評価が前提となるが、評価対象となる視点場や眺望景観等の選定は、関係者間の合意形成に依存する部分が多く、客観的な判断が難しいのが現状である。本研究の目的は、連続的な空間において風景を眺める際に利用される眺望地点と、そこからの眺望対象を客観的に抽出し、景観計画に利用できる景観特性を把握することである。

2. 研究内容

研究では、実際の空間で利用されている眺望地点と眺望対象を調査し、その結果の分析から景観を決定している評価要素の抽出を図った。そのために行った調査方法と調査項目を以下に示す。

表-1. 調査方法と調査項目

調査方法		写真調査	動線調査	スケッチ調査
		「好きな」または「気になる」風景の撮影写真	行動観察による動線記録	眺望地点で描いた「好きな」風景スケッチ
調査項目	眺望地点	撮影地点を分析	動線記録から停留地点を分析	—
	眺望対象	景観要素を分析	—	眺望範囲・方向・景観要素を分析

3. 眺望地点の分析

眺望地点の調査にあたっては、写真調査、動線調査により得られた情報(図-1、2参照)を用いて分析した。その結果、写真調査、動線調査に共通して利用頻度が集中している場所が確認できた。この場所は、風景の眺望に際して「一般性を有する眺望地点(以降:景観場)」の存在を示していると考えられる。施設の計画段階では、このような「景観場」を事前に予測した上で、その場所への動線やそこからの景観について検討することが、良質な景観を形成する重要なポイントになると考えられる。

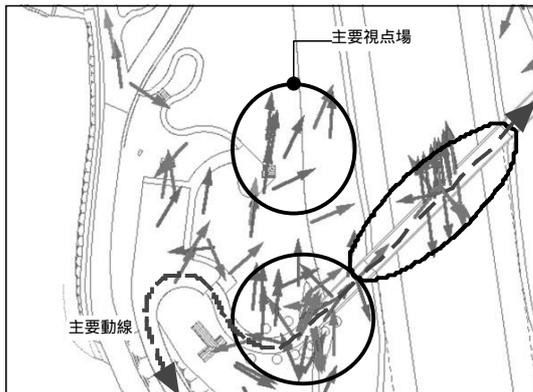


図-1. 写真調査の撮影地点

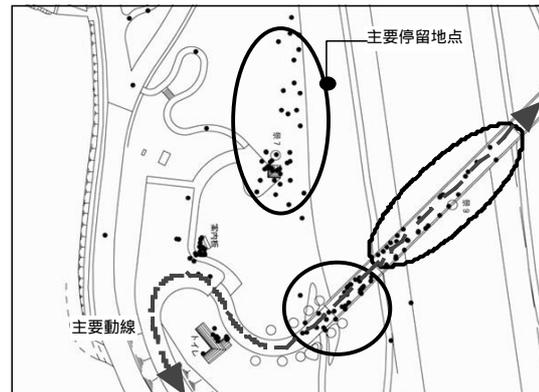


図-2. 動線調査による停留地点

4. 眺望対象の分析

前述の「景観場」における眺望対象について分析した結果、「景観場」で眺望されている風景は、特定の方向や範囲に収束する傾向があった。このため、その範囲の視覚情報を分析することで、「好ましい」

キーワード：景観評価、評価要素、景観要素、眺望地点、眺望対象

連絡先：〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-8 TEL03-5474-1190 FAX03-3404-4181

「好ましい」景観として認識されるために必要な景観要素を抽出することができると考え、スケッチと写真を構成している景観要素（図-3、4参照）について分析した。分析の結果、両調査に共通して特に出現頻度が高い景観要素の存在が確認された。これらの頻度が高い景観要素により、「景観場」で眺望される風景の一般的な「景観構成」が認識されていると考えられた。

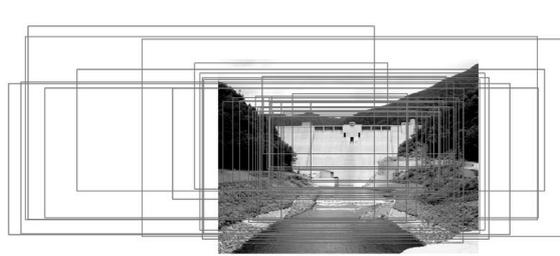


図-3．スケッチ調査の景観構成

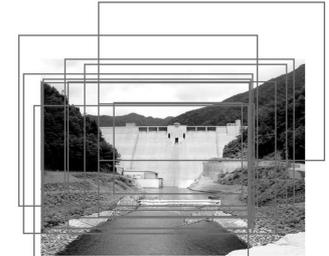


図-4．写真調査の景観構成

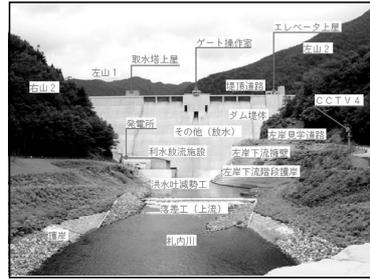


図-5．景観要素の分類

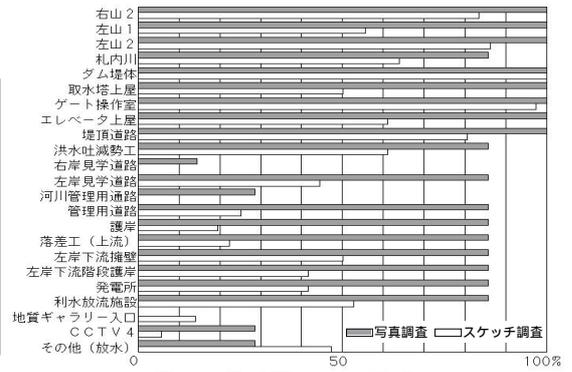


図-6．景観要素の出現頻度

4. 考察

調査・分析の結果、面的な広がりを持つ調査対象地において、魅力的な景観を決定する「景観場」と「景観構成」の関連を捉えることができたと考えられる。計画段階で計画地の「景観場」と「景観構成」を把握することができれば、それらの情報を提示することにより、実際の空間で行われている景観認識について評価が可能になると判断する。

5. 今後の課題

景観特性の把握手法をより信頼性の高いものとしていくにあたり、眼球運動測定装置を用いた注視点と景観要素の関連性分析（図-7、8参照）や、視覚情報認識と景観イメージの関連性分析（図-9参照）等といった視覚情報をより定量的に捉えていくための研究が必要であると考えられる。

今後は「景観場」において得ることのできる視覚情報の分析を中心に、計画段階で利用できる様々な事例に適用可能な手法の確立を目指し研究を進める予定である。

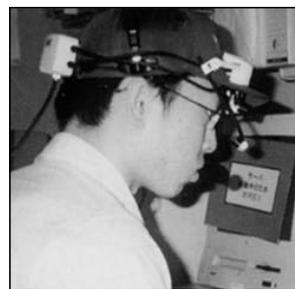


図-7．眼球運動計測装置

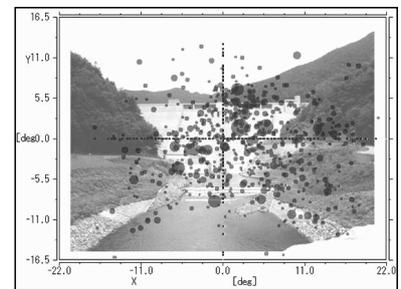
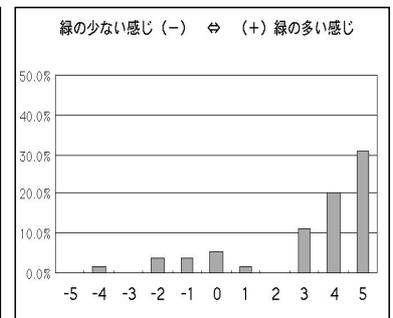
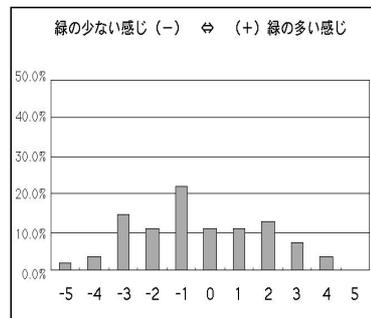


図-8．注視点と景観要素の関連性分析



写真提示調査

現地調査

図-9．景観イメージ調査

参考文献

- 1) 藤田光則、久保秀夫他：自然と人の調和を求めた札内川ダム事業について
土木学会北海道支部論文報告集、1999.02
- 2) 須田清隆、田村順一他：開放空間としての札内川ダム空間のデザイン手法の提案
土木学会北海道支部論文報告集、1999.02